



▲ 青梅町信用組合前で撮影した集合写真（昭和5年）

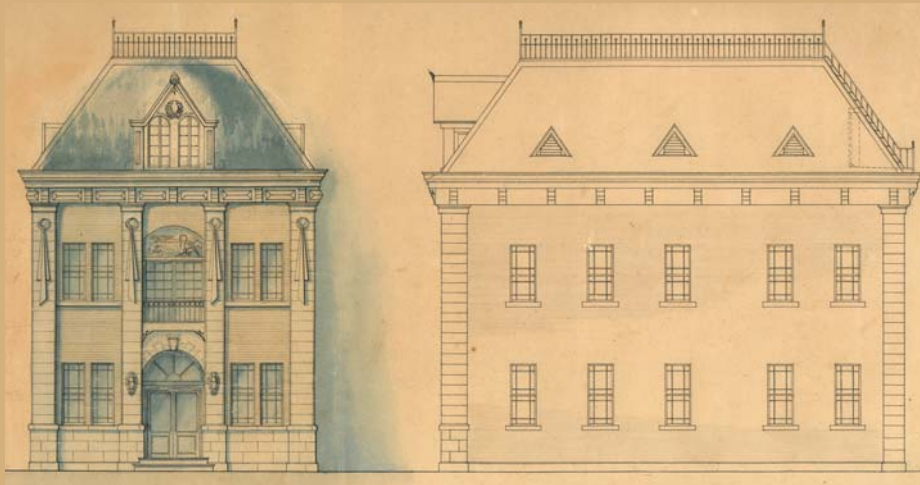


▲ 青梅町信用組合の建物

企画展

青梅の金融史

～ あおしん創立100周年～



▲ 青梅銀行改築設計図



▲ 青梅銀行の建物

2021年9月18日(土) ▶ 12月19日(日)

青梅市郷土博物館

東京都青梅市駒木町1-684
電話番号 0428-23-6859

青梅市郷土博物館

検索

入館料 無料
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日

※ただし、9月20日(月)は開館し、翌21日(火)を休館とします。

アクセス JR青梅線「青梅駅」下車徒歩約15分

※専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

100th
おかげさまで100周年
「ありがとう」を未来へつなぐ
青梅信用金庫

青梅の金融史～あおしん創立100周年～

令和4(2022)年3月、青梅市内に本店を置く「青梅信用金庫(あおしん)」が創立100周年を迎えます。

日本における近代的な金融機関の登場は、明治時代までさかのぼります。明治5(1872)年に国立銀行条例が制定されると、翌年には日本最初の商業銀行として「第一国立銀行」(初代頭取・渋沢栄一)が設立されました。青梅市域でも、明治15(1882)年に青梅銀行、明治22(1889)年に青梅商業銀行(設立当時は株式質会社)、明治30(1897)年に多摩銀行、明治33(1900)年に成木銀行など、数多くの金融機関が設立されました。

大正7(1918)年に第一次世界大戦が終わったことによる反動不況に見舞われると、当時の青梅町内の織物業なども打撃を受けました。そこで、機屋や買継商などの織物業をはじめ、町内の様々な業種の代表者が発起人となり、青梅銀行や多摩銀行などの協力を得て、大正11(1922)年に「有限責任 青梅町信用組合」が設立されました。その後、昭和金融恐慌や第二次世界大戦など激動の時代を経て、現在、「青梅信用金庫(あおしん)」として、地域に密着した運営を展開しています。

本企画展では、青梅市域を中心とした金融史をテーマに、明治期から昭和期にかけての金融機関の関連資料を展示し、その変遷などを紹介します。

主な展示品



青梅銀行の営業報告書
(明治41年)



多摩銀行の看板



青梅町信用組合の事務室風景

ご来館に当たって

当館へご来館するに当たり、以下の項目について、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

- マスクを着用し、咳エチケットや手指消毒へのご協力をお願いいたします。
- 発熱がある方、咳やのどの痛みなどの症状のある方は入館をご遠慮ください。
- 館内の休憩スペースや設備などの利用を制限させていただきますいております。
- 館内の状況に応じて、展示室への入場制限等を行う場合があります。
- 会期中、状況に応じて臨時休館させていただく場合があります。

案内図

JR青梅線青梅駅から徒歩約15分、または青梅駅から都営バス(梅77系統「駒木町循環」)に乗り、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約5分。

